



【EPd療法(1・2コース目)について】 (エムプリシティ+ポマリスト)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前			作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フェキソフェナジン錠 アセトアミノフェン錠	アレルギー予防	1日1回 内服																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
デキサート注	副腎皮質ステロイド	1時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
エムプリシティ注	分子標的薬	初回3時間20分～ 2回目1時間10分～ 3回目以降50分～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ポマリドミドカプセル (ポマリストカプセル)	抗がん剤	1日1回 内服																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											



治療による副作用

:注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																												
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	皮疹																												
	皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
検査値	下痢																												
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																												
	手足のしびれ																												
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																												
検査値	白血球減少																												
	感染しやすくなりますので、手洗いうがい等を心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																												
	貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
検査値	血小板減少																												
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												
検査値	肝機能低下																												
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																												

- 心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)
 - 肺の症状(治療開始から起こることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)
 - 血栓症(足が腫れる、下肢の激しい痛み、呼吸がしにくいなどの症状があればお知らせ下さい。)
 - 糖尿病がある人は血糖上昇することがありますので注意してください。
 - ポマリストの管理についてはレブメイトキットで管理してください。残った薬は勝手に廃棄しないでください。
 - 外来受診するときはレブメイトカードを必ず持参してください。
- 血栓予防の薬を服用することがあります。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部



【EPd療法(3コース目以降)について】 (エムプリシティ+ポマリスト)



ID: _____ 様

3

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
フェキソフェナジン錠 アセトアミノフェン錠	アレルギー予防	1日1回 内服																													
レナデックス錠	副腎皮質ステロイド																														
デキサート注		1時間																													
エムプリシティ注	分子標的薬	3コース目初回3時間～ 2回目以降1時間40分～																													
ポマリドミドカプセル (ポマリストカプセル)	抗がん剤	1日1回 内服																													

😊 **治療による副作用** : 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目						
自覚症状	アレルギー様症状																																			
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																		
	皮疹																																			
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																		
	下痢																																			
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																																		
検査値	手足のしびれ																																			
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																																		
	白血球減少																																			
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい等を心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																																		
	赤血球減少(貧血)																																			
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																		
検査値	血小板減少																																			
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																		
	肝機能低下																																			
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																																		

- 心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)
 - 肺の症状(治療開始から起こることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)
 - 血栓症(足が腫れる、下肢の激しい痛み、呼吸がしにくいなどの症状があればお知らせ下さい。)
 - 糖尿病がある人は血糖上昇することがありますので注意してください。
 - ポマリストの管理についてはレブメイトキットで管理してください。残った薬は勝手に廃棄しないでください。**
 - 外来受診するときはレブメイトカードを必ず持参してください。
- 血栓予防の薬を服用することがあります。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部